


環境省・オフセット・クレジット(J-VER)制度認証委員会 御中  
(事務局:気候変動対策認証センター)

平成25年1月22日

### 温室効果ガス排出削減・吸収量認証依頼書

オフセット・クレジット(J-VER)制度における検証が終了しましたので、利用約款記載のダブルカウントを回避するための措置を適切に執り行うことを誓約のうえ、下記の温室効果ガス排出削減・吸収量の認証を依頼いたします。

|  |  |                |   |
|--|--|----------------|---|
| プロジェクト名                                  |  |                |   |
| 九州薪・木質ペレット活用協議会における薪と木質ペレットの活用による CO2 削減 |  |                |   |
| 【依頼者】 プロジェクト代表事業者                        |  |                |   |
| 事業者名(フリガナ)                               | NPO 法人九州バイオマスフォーラム(キュウシュウバイオマスフォーラム)                         |                |  |
| 住所                                       | 熊本県阿蘇市一の宮町宮地 5816  |                |   |
| 代表者氏名                                    | 梶田 聖孝  | 代表者役職          | 理事長   |
| 担当者氏名                                    | 中坊 真   | 担当者<br>所属部署・役職 | 事務局長  |
| 担当者 E-mail                               | nakaboh@aso.ne.jp  | 担当者電話番号        | 050-3305-6577   |
| プロジェクト事業者・プロジェクト参加者                      |  |                |   |
| プロジェクト事業者名                               | ペレットストーブ、薪ストーブの使用者である個人、法人                                   |                |   |
| プロジェクト参加者名                               | 河津造園株式会社<br>木場木材工業株式会社<br>はま造園土木株式会社<br>有限会社松田産業<br>株式会社カジワラ |                |   |
| オフセット・クレジット(J-VER)取得予定者                  |  |                |   |
| 事業者名(フリガナ)                               | NPO 法人九州バイオマスフォーラム(キュウシュウバイオマスフォーラム)                         |                |   |
| 妥当性確認・検証機関                               |  |                |   |
| 妥当性確認機関名                                 | SGSジャパン株式会社  |                |   |
| 検証機関名                                    | SGSジャパン株式会社  |                |   |

| プロジェクト情報              |  |
|-----------------------|--|
| プロジェクト登録番号<br>(4 ケタ)  | 0166   |
| プロジェクト登録日             | 2011年6月29日   |
| プロジェクト概要 <sup>1</sup> | <p>【プロジェクトの目的・内容】</p> <p>NPO 法人九州バイオマスフォーラムが事務局を務める「九州薪・木質ペレット活用協議会」には、複数の薪・木質ペレット生産販売事業者が会員として加入しており、協議会のホームページ上に開設したオンラインショップや電話・FAX 等による通信販売・店頭販売等で、薪を利用者に販売した。今回は協議会の活動の一環として J-VER 制度へ参加した。J-VER 制度への参加を同意したストーブユーザーが灯油ストーブ等による化石燃料使用の代わりに、木質バイオマスを燃料利用することで、CO<sub>2</sub>排出量を削減するプロジェクトである。また、灯油等と比較して手間がかかる上に割高となっている薪を継続して利用してもらうために、オンラインショップ等のポイントや商品券等としてオフセット・クレジット(J-VER)収益を消費者に還元することで、木質バイオマス燃料のインセンティブを付与し、継続利用を促すことを目的としている。</p> <p>○九州バイオマスフォーラムについては、J-VER 対象となる薪の製造と販売を行っている。広葉樹の薪の一部については河津造園で製造委託し、仕入れ・販売している。</p> <p>○木場木材工業については、J-VER 対象となる薪の製造、販売を行っている。</p> <p>○河津造園については、薪・ペレットの製造は行っているものの、ペレットについては J-VER 向け販売はほとんどない。</p> <p>○はま造園土木については、2012年7月12日の豪雨による水害の影響で伝票類・証票類がすべて流されてしまったため、過去のデータが判明しない。また工場の操業ができない状況となり、以降、薪の製造・販売に関する事業は停止している。</p> <p>○松田産業、カジワラについては、J-VER の対象となるストーブ向け薪販売実績がほとんどなく、今回の検証分には含めない。</p> <p>上記の変更により、モニタリング計画書で予定していたペレットによる削減量 345t が達成されていない。</p> <p>以上の状況より、今回の検証分としては、</p> <p>・九州バイオマスフォーラム：自ら製造した薪、及び河津造園で製造された薪(広葉樹)を仕入れ、ユーザーに販売した分</p> |

<sup>1</sup> プロジェクト概要はプロジェクトの目的・内容の他、適格性基準との整合性・法令遵守状況・採用技術・モニタリング方法・GHG 算定式の方法論への準拠性・モニタリング体制・QA / QC 体制等に関する内容を3ページ以内で具体的に記述してください。登録時から変更がなければ登録時と同内容を、登録時から変更がある場合は相違点を具体的に記述してください。

|  |   |
|--|---|
|  | <p>・河津造園: 自社で製造して、ユーザー販売した薪の分</p> <p>・木場木材: 自社で製造し、ユーザーに販売した薪の分を対象とした。</p> <p>九州内で J-VER 制度へ参加したユーザーの薪ストーブを用いて燃焼・利用している。オンライン販売サイト上で J-VER 制度の対象となる商品(薪)は、J-VER 制度へ参加した事業者が製造販売する薪のみとしている。他の関連商品(J-VER 不参加者が販売する薪、書籍、ストーブ等)は対象としてない。</p> <p><b>【適格性基準との整合性】</b></p> <p>本プロジェクトは、適格性基準を満たしている。</p> <p><b>【法令遵守状況】</b></p> <p>関連する許認可及び関連法令等については、対応済みである。</p> <p><b>【採用技術】</b></p> <p>(1) 薪製造装置・機器(代表的設備)</p> <p>チェーンソー : 新宮商工製、新ダイワ製、STHIL 製等</p> <p>薪割り機 : BRAVE 製、PICKPINE 製、MTD 製等</p> <p>(2) 薪ストーブ(代表的設備)</p> <p>薪ストーブ : PECAN 製、Dutchwest 製、NESTOR MARTIN 製等</p> <p><b>【モニタリング方法】</b></p> <p>ペースライン排出量はプロジェクト実施者への薪の販売量を販売伝票で把握し、各プロジェクト実施者がどの種類の化石燃料等を代替したのかを把握するアンケートに基づいて算出する。</p> <p>薪製造によるプロジェクト排出量は、各参加事業者が購買伝票や製造設備・機器の稼働時間等をモニタリングし、方法論の算定式を基に算出する。県外への運搬によるプロジェクト排出量は運搬距離と運搬車両をモニタリングし、燃費法に基づいて算出する。</p> <p><b>【GHG 算定式の方法論への準拠性】</b></p> <p>当プロジェクトは GHG 算定式の方法論へ準拠している。</p> <p><b>【モニタリング体制】</b></p> <p>薪・ペレット製造時の化石燃料・電力消費量、運搬時の化石燃料消費量、薪・ペレット販売量については各参加事業者においてモニタリングする。データの確認、承認、集計は九州バイオマスフォーラムが行う。内部監査は九州バイオマスフォーラム監査が行う。</p> <p><b>【QA / QC 体制】</b></p> <p>(1) 教育・訓練</p> <p>J-VER 制度の仕組み、モニタリング方法、今後の活動計画等について参加事業者を対象に、九州バイオマスフォーラムが 2011 年 4 月 11 日に説明会を行った。</p> <p>(2) 情報の管理</p> |
|--|---|

|                                     |       |   |      |      |      |      |    |
|-------------------------------------|-------|---|------|------|------|------|----|
|                                     |       | <p>薪・ペレット製造販売事業者におけるデータは、参加事業者にて伝票、化石燃料・電力消費量、販売量の記録を保管する。伝票、モニタリング結果の写しについては、九州バイオマスフォーラムにて保管する。</p> <p>(3)データの確認</p> <p>九州バイオマスフォーラム職員が、算定結果データを毎年記録する際に、他の担当者によるダブルチェック等により、算定結果データの正確性を確認する。</p> <p>(4)内部監査の実施</p> <p>九州バイオマスフォーラムはプロジェクト・モニタリング計画書作成後に収集・集計した資料を突き合わせ、計画書通りに実施されているか内部監査を年に1回以上行っている。実施日 2012/12/1 実施内容 QA/QC 活動記録チェックリスト(提出済み)による。監査の結果問題ないと判定。</p> <p>(その他特筆すべき事項)</p> |      |      |      |      |    |
| モニタリング結果概要 <sup>2</sup>             |       | <p><input checked="" type="checkbox"/> プロジェクト計画に基づきプロジェクトを実施した。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> モニタリング計画書に基づきモニタリングを実施した。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> モニタリング方法ガイドライン・方法論に準拠した GHG 算定を行った。</p> <p>(その他特筆すべき事項)</p> <p>ペレットについては、本プロジェクトに該当する実績が伴わなかったため、算定は行っていない。</p>   |      |      |      |      |    |
| 適用モニタリング方法ガイドライン                    |       | <p align="center"><u>オフセット・クレジット(J-VÉR)制度モニタリング方法ガイドライン</u><br/>(排出削減プロジェクト用) ver.3.0</p>   |      |      |      |      |    |
| 適用方法論                               | 方法論番号 | <p align="center">JEAM 007 ver.1.1</p> <hr/> <p align="center">JEAM 003 ver.4.0(実績が伴わなかったため算定は行っていない)</p>   |      |      |      |      |    |
|                                     | 方法論名称 | <p>薪ストーブにおける薪の使用<br/>木質ペレットストーブの使用(実績が伴わなかったため算定は行っていない)</p>  |      |      |      |      |    |
| <b>モニタリング結果</b>                     |       |   |      |      |      |      |    |
| モニタリング期間                            |       | 2010年4月2日～2012年3月31日  |      |      |      |      |    |
| ＜方法論R001・R002・R003のみ＞<br>モニタリング対象面積 |       |   |      |      |      |      |    |
| 排出削減・<br>吸収量                        | 年度    | 2008  | 2009 | 2010 | 2011 | 2012 | 合計 |
|                                     | t-CO2 |   |      | 15   | 48   | 0    | 63 |
| 認証依頼削減・吸収量                          |       | 63 t-CO2 <sup>3</sup>   |      |      |      |      |    |

<sup>2</sup> モニタリング概要は、モニタリング方法において特筆すべき事項があれば記入してください。

<sup>3</sup> 合計の値から小数点以下を切り捨て、トン単位で記載してください。

| ダブルカウントの防止の措置        |  |
|----------------------|--|
| ダブルカウントの防止の措置を講ずる事業者 | <p>【ダブルカウント防止措置を講ずる事業者名】</p> <p>事業者名： <u>NPO法人九州バイオマスフォーラム</u></p>   |
| ダブルカウントの防止措置内容       | <p>以下、該当する場合は、□に✓を入れ、必要に応じて詳細を記入してください。<br/>(オフセット・クレジット(J-VER)制度実施規則 1.4「クレジットの二重使用」参照)</p> <p><b>【①類似制度に基づく二重認証に関するダブルカウントの防止措置】</b></p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 類似制度へ申請しておらず、当該プロジェクトにおいて確保された削減量・吸収量については、オフセット・クレジット(J-VER)制度以外の制度によって、当該プロジェクトに付随する温室効果ガス削減・吸収という環境に関わる付加価値(以下、「環境価値」という。)の認証を取得しません。</p> <p><input type="checkbox"/> 以下の類似制度(「電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法を含む)に申請しています</p> <p style="margin-left: 40px;">類似制度名： _____</p> <p><input type="checkbox"/> 当該プロジェクトにおいて確保された削減量・吸収量については、オフセット・クレジット(J-VER)制度以外の制度によって、当該プロジェクトに付随する環境価値の認証を取得しておらず、今後も取得しません。</p> <p><input type="checkbox"/> 当該プロジェクトにおいて確保された削減量・吸収量については、オフセット・クレジット(J-VER)制度以外の制度によって、当該プロジェクトに付随する環境価値の認証を取得しているため、その分を控除いたします。</p> <p><input type="checkbox"/> 当該プロジェクトにおいて確保された削減量・吸収量については、オフセット・クレジット(J-VER)制度以外の制度によって、当該プロジェクトに付随する環境価値の認証を取得していますが、以下の理由によりダブルカウントが生じていないことを証明します。</p> <p style="margin-left: 40px;">理由： _____</p> <p><b>【②第三者に環境価値を移転する際のダブルカウントの防止措置】</b></p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 当該プロジェクトにより生み出されたエネルギー等(電気、バイオガス等)を第三者に売却する際に、その売却先に対して、環境に関わる付加価値はクレジット化されており、当該エネルギー等の価値には付随していないこと、及び、当該エネルギー等の価値の帰属先と、環境に関わる付加価値の帰属先が異なることを明示する「説明文書」を作成して、売却先に示します。</p> <p><input type="checkbox"/> 森林管理プロジェクトの場合、当該プロジェクトの対象となった森林を第三者に譲渡する際に、その譲渡先に対して、環境価値はクレジット化されており、当該森林には付随していないこと、及び、当該森林の所有権の帰属先と、環境価値の帰属先が異なることを明示する説明文書を作成して譲渡先に示します。あわせて、当該森林の譲渡の際には、オフセット・クレジット(J-VER)制度利用約款森林管理プロジェクト特約の内容にも十分に留意します。</p> <p>※第三者が、当該プロジェクトから生じる環境に関わる付加価値がオフセットクレジット(J-VER)として使用されていることを知らずに、当該付加価値を二重に主張することを防ぐ必要があるため、妥当性確認時において、これらの防止措置が講じられる体制にあること(上記の「説明文書」の作成等)を確認する必要がある。</p> |

|  |  |
|--|--|
|  | <p><b>【③自主的な報告・公表を実施する際のダブルカウントの防止措置】</b></p> <p><input type="checkbox"/> 以下の自主的な報告・公表媒体において、当該プロジェクトの内容、当該クレジットの発行量及び当該クレジット発行量のうち当事業者が無効化したクレジット量（環境価値を他者に譲渡していないもの）を明記します。</p> <p style="padding-left: 20px;">あわせて、当該プロジェクトにおいて発行されたクレジット量については、環境価値の帰属を主張しません。ただし、当事業者による自らの為に無効化したクレジット量（環境価値を他者に譲渡していないもの）については除きます。</p> <p style="padding-left: 40px;"><input type="checkbox"/> ホームページ<br/>ホームページ URL: _____</p> <p style="padding-left: 40px;"><input type="checkbox"/> 出版物（環境報告書/定期刊行物）</p> <p style="padding-left: 40px;"><input type="checkbox"/> その他 具体的に: _____</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 現在は、自主的な報告・公表を実施していないが、今後実施するにあたっては、当該プロジェクトにおいて発行されたクレジットについては、環境価値の帰属を主張しません。ただし、当事業者による自らの為に無効化したクレジット量（環境価値を他者に譲渡していないもの）については除きます。</p> <p><b>【④公的な報告・公表制度におけるダブルカウントの防止措置】</b></p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 公的な報告・公表制度には参加していません。</p> <p><input type="checkbox"/> 以下の公的な報告・公表制度に参加しています</p> <p style="padding-left: 40px;"><input type="checkbox"/> 地球温暖化対策推進法に基づく算定・報告・公表制度の対象者である。</p> <p style="padding-left: 40px;"><input type="checkbox"/> 地球温暖化対策推進法に基づく地方公共団体実行計画（区域施策）の策定義務対象者（都道府県）である。</p> <p style="padding-left: 40px;"><input type="checkbox"/> 「排出量取引の国内統合市場の試行的実施」参加事業者である。</p> <p style="padding-left: 40px;"><input type="checkbox"/> 地方公共団体が実施する以下の制度の対象事業者である。</p> <p style="padding-left: 80px;">制度名: _____</p> <p style="padding-left: 40px;"><input type="checkbox"/> その他<br/>具体的に: _____</p> <p><input type="checkbox"/> 当該報告・公表制度等において、当該プロジェクトにより発行されたクレジット量については排出量とみなし報告します。ただし、当事業者による自らの為に無効化したクレジット量（環境価値を他者に譲渡していないもの）は除きます。</p> <p><input type="checkbox"/> 当該報告・公表制度等において、当該プロジェクトにより発行されたクレジット量について報告する必要はないため、クレジット発行量については排出量とみなし、当該報告・公表制度の報告様式における適切な備考欄に記載します。ただし、当事業者による自らの為に無効化したクレジット量（環境価値を他者に譲渡していないもの）は除きます。</p> <p><input type="checkbox"/> 当該報告・公表制度等において、当該プロジェクトにより発行されたクレジット量について報告する必要はないため、クレジット発行量については排出量とみなし、自主的な報告・公表値において報告します。ただし、当事業者による自らの為に無効化したクレジット量（環境価値を他社に譲渡していないもの）は除きます。</p> |
|--|--|

| ダブルカウント防止措置責任者（プロジェクト代表事業者と同様の場合は記載不要） |  |                |   |
|--|--|----------------|---|
| 事業者名                                   |  |                | 印 |
| 住所                                     |  |                |   |
| 代表者氏名                                  |  | 代表者役職          |   |
| 担当者氏名                                  |  | 担当者<br>所属部署・役職 |   |
| 担当者 E-mail                             |  | 担当者電話番号        |   |
| 備考欄                                    |  |                |   |
|  |  |                |   |

以 上